

H23.10.20  
信毎

# 真田の路線バス守ろう

## 上田住民や運行会社で協議会発足

### 利用促進へ調査など計画

上田市真田地域を走る路線バスの利用客を増やし、地域を挙げて存続活動に取り組む「真田地域公共交通利用促進協議会」が発足し、19日夜に同市真田町長の市真田地域自治センターで設立総会を開いた。地元住民代表、商工関係者、バス会社など70の個人・団体が参加。同地域は公共交通が上田バス（上田市）の路線バスのみで、利用客の減少が続いているため、利用促進に向けた調査や広報活動に取り組むことを決めた。

同地域では昨年10月、バス路線のない区域をなくすため、真田地域公共交通利用促進協議会の設立総会であいさつする佐藤会長

#### 真田地域公共交通利用促進協議会 設立総会



## 立科の名物料理に

### コンテスト上位試食会

来年提供目指し

立科町は19日夜、昨年実施した第1回立科の味料理コンテストで最優秀賞になった作品の試食会を町内で開いた。地元食材を生かした料理3品を試作、町内外の飲食店等に提供することを説明した。

ブなどから51点が集まり、創作郷土料理、菓子、加工品の3部門でそれぞれ最優秀賞を決定。試食会では3品を定食の形で並べ、考案者が特徴を説明した。

すくなるよう工夫した。ホテルでも家庭でも食べられる」と説明した。

菓子部門の「りんごの葉かぼちゃの洋風きんつば」は蒸したカボチャをつぶして、小さく切ったりんご「紅玉」やシナモンなどを入れて固めた。加工品部門の「大根のおきらく巻き」は、味付けした

社に意見を言える場を継続的に設けてほしい」との要望が出たため、協議会をつくることになり、ことし7月に準備会が発足した。

設立総会では、会長に真田地域協議会長の佐藤和雄さん（63）＝真田町長＝を選出。本年度は、協議会の発足を地元の有線放送や市のホームページでPRしていくことを確認。ただ、促進策を話し合う会合などの具体的な日程は決まらなかった。

同地域を走る上田バスの主要路線で、上田駅と菅平高原を結ぶ同高原線は、2005年度までは黒字を確保していたが、06年度以降は赤字が続いている。利用者も05年度の約12万7600人が10年度は約8万9600人まで落ち込み、昨年10月に減便。

本年度、国・県・市から補助金を受ける方向で調整している。

市などはこれまでに、地域内を回る循環バスの導入も検討したが「複数の沢谷いに集落があるため、循環して運転するのは難しく、既存の路線バスと競合する」（市真田地域自治センター）として見送った経過がある。

同自治センターは今回の協議会発足に向け、バスを利用する地元住民を対象に数人の委員を公募したが、応募は1人だけで、現時点では住民の関心も高まっていないようだ。協議会長の佐藤さんは「できるだけ地域住民にも話し合いに参加してもらい、一人でも多くの人にバスに乗ってもらう方策を考えたい」と話している。

## 上田の母親フリマで被災地支援

### 有志集ま



上田市内に住む子育て中母親たちの有志が4月以降東日本大震災の被災地を支援するためのチャリティー「マーケット」つながるマーケット」の開催を市内で続けている。出店者が当日の売上げの一部を義援金として寄付する取り組みで、22日に回目を同市天神の上田城跡

## 佐久の3中学生 市長に活躍誓う

陸上ジュニア五輪出場

## シイタケびっくり

### 婦栽培

建設会社さん(70)の21号の大きさ=写真

いるのに気付いた。それそれ直径21号と20号で、来る人は皆驚いたという。県林業総合センター（塩尻市）の担当者は「シイタケといっても200種以上あり、大きくなる品種を、太いほだ木で育てたのだから。今日は雨があって暖かく、気候条件も良かった」としている。妻の郁子さん(70)は「鉄板で焼くか、巻かずしの具にするか、考えるだけで楽しいですね」と話す。

に神奈川県春から、キ戦。ほだ木ころ、ことシイタケが中旬、車庫ほだ木に大つ育って

## 真田地域公共交通利用促進協議会 設立趣意書

近年、公共交通は、住民が生活していくうえで必要な最低限の移動を確保するという役割がありますが、路線バス利用者の減少、それに伴う減便等によりバス事業者の努力だけでは公共交通を維持することが大変難しくなりつつあります。

市では、少子高齢化社会が進む中、住民の自立した生活を支えるため、公共交通の維持・改善に取り組むことを急務と捉え、また地域戦略の一環として、住民や観光客の移動向上による地域の活性化や環境負荷の軽減を視野に入れた持続可能な公共交通も必要と考えています。

このようなことから、平成 20 年3月策定の「長野県上田地域における公共交通活性化プラン策定に関する調査報告書」に基づき、本原地区の公共交通空白地帯解消策のため、平成 22 年 10 月より傍陽線の一部迂回ルート実証運行を実現しました。また、これらの実証運行による利用者実態調査及び住民説明会並びに全戸への住民アンケート調査を行ったところ、公共交通の維持・改善に向けて取り組む必要があること、更に住民・利用者・バス事業者・行政との意見交換できる場を設けてもらいたいとの意見をいただきました。

これらを検討し、今年7月に(仮称)真田地域公共交通利用促進協議会準備会を立ち上げ、本協議会設立の準備を行ってきたところです。

本協議会の目的であります市民・利用者・バス事業者・行政との連絡調整や利用促進に向けた調査研究・広報活動を真田地域全体として積極的に取り組んでいくことが非常に重要であります。

本日、ここに真田地域公共交通利用促進協議会を設立できますことに、準備会関係者の皆様に厚く御礼申し上げるとともに、本日まで出席いただきました会員皆様に真田地域の公共交通を大いに利用していただくことをお願いし、設立趣旨といたします。

平成 23 年 10 月 19 日

真田地域公共交通利用促進協議会準備会  
会長 佐藤 和雄

# 真田地域公共交通利用促進協議会規約

## (目的)

第1条 この協議会は、真田地域の路線バス等の利用促進のため、市民及びバス利用者と行政関係者及びバス事業者等の連絡調整を図り、必要な事項について調査研究することを目的とする。

## (名称)

第2条 この協議会は、真田地域公共交通利用促進協議会(以下「協議会」という。)という。

## (会員)

第3条 協議会は、第1条の目的に賛同する者をもって会員とする。

## (事業)

第4条 協議会は、第1条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) バス事業者との連絡調整
- (2) 利用促進に向けた調査、研究
- (3) 利用促進に向けた広報活動
- (4) その他必要な事項

## (組織)

第5条 協議会の役員会は、役員15人以内をもって組織する。

- 2 役員は、総会において選出する。
- 3 役員会には、会長及び副会長を置き役員が互選する。
- 4 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 5 副会長は、会長を補佐し会長に事故があるときはその職務を代理する。

## (役員任期)

第6条 役員任期は、4月1日から翌々年3月31日までの2年とする。ただし、補欠役員任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 役員は、再任されることができる。

## (役員会議)

第7条 役員会議は、会長が召集し、会長が議長となる。

- 2 役員会議は、役員過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 役員会議の議事は、出席役員過半数で決し、可否同数のときは議長が決するところによる。
- 4 議長は、専門的な事項について必要があると認めるときは、役員以外の者を会議に出席させ、意見を求めることができる。

## (総会)

第8条 総会は、毎年1回会長が会員を招集し、会長が議長となる。ただし、必要があると認めるときは、臨時に召集することができる。

- 2 総会は、会員過半数の出席がなければ、開会することができない。
- 3 総会の議事は、出席会員過半数で決し、可否同数のときは議長が決するところによる。

## (事務局)

第9条 協議会の事務を処理するため事務局を置く。

- 2 事務局は、上田市真田地域自治センター建設課に置く。

## 附 則

### (施行期日)

- 1 この規約は、平成23年10月19日から施行する。

## 平成23年度 事業計画

### 1 標語の利用

メインタイトル:人をむすぶ、心をつなぐ、真田の路線バス

サブタイトル:真田氏発祥の郷、歴史散歩へ！大自然とロマンを乗せて菅平高原へ！

### 2 有線放送を利用したPR活動【機会あるごとに実施中】

### 3 市の広報・ホームページ及び真田地域だよりを利用したPR活動【機会あるごとに実施中】

### 4 懸垂幕・横断幕の製作と掲示(パレオ・真田地域自治センター)

### 5 ポスターの製作と掲示(1,000部の予定)

### 6 クリスマスイベントの実施(利用促進チラシ入り球根の配布)【実施済】

### 7 児童絵画車内展示イベントの実施(2-3月に実施予定)

# 真田地域公共交通利用促進協議会 会員一覧

(順不同)

区分		団体名	職名	備考
	1	真田地域協議会	会長	
自治会	2	長地区自治会連合会	会長	真田地域自治会連絡会議副会長
	3	傍陽地区自治会連合会	会長	真田地域自治会連絡会議副会長
	4	本原地区自治会連合会	会長	真田地域自治会連絡会議会長
健康・福祉	5	上田市真田地区民生委員・児童委員協議会	会長	
	6	上田市社会福祉協議会	会長	
	7	真田町身体障害者福祉協会	会長	
	8	障害のある人達の家族の会	会長	
	9	社会福祉法人 かりがね福祉会	理事長	
	10	高齢者総合福祉施設 アザレアンさなだ	理事長	
	11	上田市真田地域健康推進委員会	会長	
	12	上田市真田地域食生活推進協議会	会長	
農業	13	農村女性ネットワークさなだ	会長	
	14	農業後継者グループ黒土クラブ	会長	
	15	農業後継者グループ青葉会	会長	
	16	JA信州うえだ 真田支所	支所長	
	17	真田町きのこ組合協業体	会長	
	18	上田市真田地域農業者年金協議会	会長	
商工観光	19	真田町商工会	会長	
	20	菅平高原観光協会	理事長	
	21	菅平高原旅館組合	組合長	
	22	社団法人上田法人会 真田支部	支部長	
建設	23	真田町上下水道協会	会長	
	24	真田建設業協会	会長	
	25	真田町造園協同組合	理事長	
体育	26	さなだスポーツクラブ	会長	
	27	真田町体育協会	会長	H24.4.1上田・丸子・真田地区で統合
消防	28	上田市消防団 第7方面隊	隊長	副本部長
その他	29	さなだ共同参画ネットワーク	会長	
	30	真田地域長寿会	会長	
保育・幼稚園	31	さなだ保育園保護者会	会長	
	32	そえひ保育園保護者会	会長	
	33	すがだいら保育園保護者会	会長	
	34	いずみ幼稚園PTA	会長	

(順不同)

区分		団体名	職名	備考
小中学校	35	傍陽小学校	校長	
	36	校長会真田支会	支会長	長小学校校長
	37	本原小学校	校長	
	38	菅平小学校・中学校	校長	
	39	真田中学校	校長	
	40	傍陽小学校PTA	会長	
	41	長小学校PTA	会長	
	42	本原小学校PTA	会長	小中学校のPTA会長(PTA真田地区事務局事務長)
	43	菅平小学校・中学校PTA	会長	
	44	真田中学校PTA	会長	
高校	45	上田高等学校 真田支部	支部長	
	46	上田染谷丘高等学校 真田支部	支部長	
	47	上田東高等学校 真田支部	支部長	
	48	上田千曲高等学校 真田支部	支部長	
	49	上田西高等学校 真田支部	支部長	
	50	丸子修学館高等学校 真田支部	支部長	
	51	東御清翔高等学校 真田支部	支部長	
金融	52	八十二銀行 真田支店	支店長	
	53	上田信用金庫 真田支店	支店長	
	54	真田郵便局	郵便局長	
事業所	55	(有)大栄工業	代表取締役社長	
	56	信越電線(株)	取締役社長	
	57	多摩電気工業(株) 真田工場	工場長	
	58	(株)NISSIN APS	工場長	
	59	スミダ電機(株) 真田工場	代表取締役社長	
	60	武者綿業	代表取締役	
	61	(株)松栄製作所	取締役社長	
	62	大和リース(株) 長野真田デポ工場	所長	
	63	(株)ウッドテック秋富	代表取締役社長	
	64	岩崎電線(株)	製造部長	
	65	塚田メディカルリサーチ真田工場	代表取締役社長	
	66	(株)新村 真田工場		
	67	西友 真田店	店長	
公募	68	山野井 宏彰	教員	第五中学校教員
	69	利用者		
	70	上田バス(株)	代表取締役	バス事業者